



独立行政法人国立病院機構 熊本南病院機関紙

みなみかぜ

NO123
2019年7月

発行所: 熊本県宇城市松橋町豊福2338 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 編集発行: 広報委員会



▲美里町「日本一の石段」～3,333段の石段～

この石段は日本全国の名石のほか、中国・韓国・インド・旧ソ連・ブラジル・アメリカ・南アフリカなど世界各国の御影石を使用し、国際親善並びに友好の絆を結んでいます。また、毎年11月の第3日曜日には、石段を利用して「アタック・ザ・日本一宣言タイムレース」が開催されます。

支えあおう熊本 ～いま心ひとつに～

masa1013

《基本理念》 熊本南病院は、地域に密着した優しく思いやりのある医療をめざします。

- 《基本方針》
- 1 患者さまの人権と意志を尊重した医療に努めます
 - 2 地域医療機関と連携し安全かつ安心な医療で地域の信頼に応えます
 - 3 医療の進歩に対応して日々研鑽し、質の高い医療を提供します

- 《診療方針》
- ◆ 地域基幹病院として、救急医療を含めた消化器・生活習慣病・循環器疾患、がん診断治療など 一般医療の充実に努めます。
 - ◆ 呼吸器疾患（結核、がんを含めた）の専門的医療を提供します。
 - ◆ 神経・筋疾患の専門的医療を提供します。

猛暑の予感



院長 金光 敬一郎



6月末、もう7月になろうとしているが、ことのほか梅雨入りが遅れていた。

田植えも満足にできない地区もあり、この夏は猛暑の予感がする。昨年は県北で40度に達しようとする酷暑があり、今年はどうだろうと心配していたが、梅雨もやっとやってきて、乾いた土地を潤してくれているが、こんどは豪雨が心配である。

熊本の蒸し暑い夏がやってきたという感じだ。季節を感じることは大切で、人が本能をなくさない様にしていると思う。涼しく過ごしたいのはやまやまだが、季節を感じるのも悪くない。

暑（熱）くなるのは季節ばかりではない。9月にラグビーのワールドカップ日本大会が開幕する。なんと熊本でも10月に2試合が予定されている。ラグビーの試合は選手も観客も盛り上がる。熱くなる。酷暑が過ぎても、しばらくは暑（熱）さが続く熊本である。

実際の試合を見ると、ぶつかり合う音がすごい。バキッ、ベキッ、ゴツン。ほんとに音が聞こえる。ラグーマンはよっぽどのことがない限り、ピッチに寝込まない。すました顔で次のプレーに走って行く。日頃から鍛えているから怪我をしない。

試合終了でノーサイド。相手チームと握手し、肩をたたいて健闘をたたえる。観客も同じである。一つのスポーツがここまで人をつなぐことができるのは素晴らしい。

前回のワールドカップでは日本は大金星をあげた。南アフリカ代表スプリングボックスに勝ったのだ。ラグビーを知る人の中では「奇跡」であった。この奇跡に導いたのは日本代表の鍛えかただ。後に報道されたが、すごい訓練であったようだ。

目標に向かって全員が助け合い、高め合い、頑張ることで、すごいことを成し遂げることができると示してくれた。

目標を見失わず、コツコツと努力することが必要で急激な変化には犠牲がつく。犠牲を減らしながらも一体感を持って向かい、きついこともやっしまえば充実感が残る。これも大事なことだ。これからの時代も目標を正しく定め、準備して、全員で向かっていきたい。

2019年7月



令和元年度宇城市健康づくり推進員全体会議

～ 出張健康教室のご案内 ～

臨床教育研修センター
地域健康推進室(給与係) 高橋 凌之



令和元年6月10日(月)、宇城市健康づくり推進員全体会議が宇城市役所3階大会議室におかれまして、推進員さん及び健康づくり推進課の方々、約160名の参加で盛大に開催されました。

当院からは、紫垣・荒木・伊藤・松本・高橋・近藤の6名が出席させて頂きました。

西岡推進員代表理事(当院の緩和ケア部会倫理委員)が議長をされ、推進課より平成30年度の事業報告及び補助金実績報告があり、令和元年度事業計画(案)・活動補助金(案)と議事が進み、小野田係長より「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」の現況報告がパワポであり、無事に会議が終了しました。

最後に、資料(平成30年度出張健康教室開催写真集・出張健康教室のご案内・緩和ケア病棟のご案内・「がん教育」が始まります!・7月10日開催の出張一日健康相談ご案内)を基に説明をおこないました。

健康教室は平成19年に宇城市及び宇城市代表区長会の方々のご理解を頂き、「健康立市宇城市」の一翼を担って、スタートしてから今年度で丸12年が経ちました。

平成30年度は特に「熊本地震」から2年が経過しましたが、まだまだ復興にはほど遠く、現在においても仮設住宅等の入居者が多数おられました。

健康教室も各地区の公民館が改修中で、場所の変更を余儀なくされましたが、市民への健康に対する啓発活動及び地震後の身体の相談も含めて、可能なかぎりの地域活動を行いました。

宇城市及び周辺地域の方々の予防医学・日常的な健康づくりの実践に対し、これからも健康教室を充実させ、健康づくり推進員さんの負託に答えられるよう取り組んでいくことが、市民から信頼を得ることに繋がっていくことになると考えています。

宇城市及び周辺地域の方々の予防医学・日常的な健康づくりの実践に対し、これからも健康教室を充実させ、健康づくり推進員さんの負託に答えられるよう取り組んでいくことが、市民から信頼を得ることに繋がっていくことになると考えています。

「これまでもこれからも」をモットーに熊本南病院と市民との「架け橋」として、今後も邁進していく所存でございます。ご支援のほどよろしくお願い致します。



市民公開講座 第131回地域ケア連携研修会

『がんのしくみと予防について』 ～地域で支え合う社会を目指して～

臨床教育研修センター

地域健康推進室（企画課長） 荒木 寛 崇

平成31年4月17日（水）、第131回熊本南病院地域ケア連携研修会を宇城市小川町総合文化センター「ラポート」において開催しました。

熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会・熊本大学医学部附属病院緩和ケアセンター共催の基、当院の金光病院長が『がんのしくみと予防について』～地域で支え合う社会を目指して～という演題で講義をされました。

健康な身体がどうなることを“がん”というのだろうから始まり、人の身体の細胞は、約37兆個あり、毎日分裂が行われ、新しくなっ



ています。細胞が分裂するときに変異が起きることがあり、修復や排除により正常に保たれるしくみになっていて、修復のしくみが働かないときに異常な細胞が増えてかたまりになります。悪性のものを“がん”と言います。統計上では2人に1人が「がん罹患」し、3人に1人が「がん死亡」されています。



次に原因は何だろうということで、「細菌・ウイルス」「生活習慣」「遺伝的原因」の3つに分けて話しをされましたが、特に生活習慣は禁煙・節酒・バランスの良い食事（野菜たっぷり、脂肪は少なめに）・適度な運動・適正体重の維持をあげられ、望ましい生活習慣を心がけることによって“がん”になる危険性を減らすことができます。細菌・ウイルスでは感染対策をし、早期治療で治すことができますし、また遺伝的原因については「がん検診」を受

けることにより、早期発見で治すことができますと訴えられました。

細胞が変異して、がん細胞は10年～20年かけて大きくなるまで、自覚症状はありません。

「症状がなくても定期的に検診を受けることが最も重要です」とわれ、「がん検診の受診率が50%に達していない」ことを指摘されました。



「がんの治療」では手術・放射線治療・化学療法の3つを紹介され、がんの種類や状態などにより、いくつかの治療法を組み合わせで行います。ということで、当院での内視鏡的粘膜下層剥離術や腹腔鏡下胃切除術の仕組みや光景を画像で紹介されました。



緩和ケアとは（患者とその家族に対し、病気に伴う身体と心の痛みを和らげるための支援）やがん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろうということ、がんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深め、特になん治療と仕事の両立など職場や地域の方々ががんについて関心を持ち、正しく理解し、適切な対応を図ることが求められていますと強調されました。

最後に当院の緩和ケア病棟の紹介では開設当時からナースステーション前で生活し、患者家族はもちろんのこと、スタッフへの癒しのシンボル、ウーパールーパーの「シロちゃん」、談話室・ファミリーキッチン、特別個室・一般個室、さらには緩和ケア病棟の春のお花見、夏のソーメン流しなどを紹介し、市民公開講座を終了しました。

最後に当院の緩和ケア病棟の紹介では開設当時からナースステーション前で生活し、患者家族はもちろんのこと、スタッフへの癒しのシンボル、ウーパールーパーの「シロちゃん」、談話室・ファミリーキッチン、特別個室・一般個室、さらには緩和ケア病棟の春のお花見、夏のソーメン流しなどを紹介し、市民公開講座を終了しました。



「看護の日」出張一日健康相談の開催

～看護の心をみんなのところに～

臨床教育研修センター

地域健康推進室（契約係長）松本真治

令和元年5月15日（水）、イオンモール宇城で『看護の日』出張一日健康相談を14時～16時の時間帯で開催しました。

新時代、看護の日出張一日健康相談を皮切りに2ヶ月に1回の健康相談のスタートです。

《基本理念》～地域に密着した優しく思いやりのある医療をめざします～をモットーに熊本南病院を市民の皆さまに広く知って頂き、さらに、糖尿病・がん・心臓病・脳卒中等や生活習慣病の改善の重要性についても、一人一人が理解を深め、健康づくりの実践を促進されるために開催しています。

広報活動として、イオンの熊本南病院情報コーナー・市役所・最寄りの各駅・「広報うき」への掲載も行っています。また、イオンモール宇城のホームページにも掲載して頂いています。さらに、熊日新聞（朝刊）生活情報誌「あれんじ熊本」にも掲載しています。



健康相談の内容は、身体測定（身長・体重・血圧）体脂肪測定・血糖値測定・骨密度測定や医師・看護師・栄養士による健康相談です。

地域の中に健康相談が浸透してきたこともあり、当日は準備段階から20数名の行列ができ、短い時間の中、95名の方々がご来場されました。

骨密度測定・体脂肪測定は、いつもながら人気No.1ですが、血糖値測定も気になる方々がたくさんおられ、医師による医療相談や栄養相談は最初から最後まで、行列ができました。

「丁寧な対応をして頂きありがとうございます。」
「これからも続けてほしいと思います」「いつもがんサロンでお世話になっています。おつかれさまです。」などの声をたくさん聞くことができました。

また、スタッフの対応についても多数の方々から感謝されました。



今後、その方々が当院を受診されたときには、基本理念にもとづき、思いやりを持って、診療にあたっていかなければと思います。

これからも宇城市健康福祉部健康づくり推進課と連携しながら、健康増進の普及や予防医学の推進をイオンモール宇城での出張一日健康相談、さらには出張健康教室等を充実させ、地域に密着した優しく思いやりのある医療をめざしていきたいものです。

職員一丸となって、半歩づつでいいですから、地域の中に足跡を残したいと思っています。



熊本南病院「看護の日」 出張一日健康相談

●日時●
2019年5月15日(水)
14:00~16:00 (受付 13:45~)

●場所●
イオンモール宇城
(同仁堂前特設会場)

●内容●
● 血圧測定 ●
● 血糖値測定 ●
● 骨密度測定 ●
● 風湿相談 (医師・看護師・栄養士等) ●

無料です

5月12日は「看護の日」 ~看護の心をみんなの心に~
近代看護教育の生みの親と言われるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、5月12日は「看護の日」に制定されており、この日を含む「看護週間」には、全国でさまざまな記念行事が開催されます。市民の皆様一人一人が理解を深め、健康づくりの実践を促進されるために、宇城市健康づくり推進課「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」と連携して開催いたします。
みなさん！ぜひご参加ください。

国立病院機構 熊本南病院
熊本県宇城市松橋町豊福 2338
TEL 0964-32-0826
<http://www.hosp.go.jp/~kumanann>

看護の日

看護の日・看護週間とは？

毎年5月12日(フローレンス・ナイチンゲールの誕生日)は看護の日。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。

「看護の日」制定の趣旨

21世紀の高齢社会をささえていくためには、**看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。**こうした心を、だれもが育むきっかけとなるような国は、1990年にフローレンス・ナイチンゲールの誕生日の5月12日を「看護の日」に制定しました。

フローレンス・ナイチンゲール (1820~1910)

裕福な家庭環境の中で少女時代を過ごしましたが、その生活に満足できず、慈善事業に関心を強め、各国の病院などを見学し看護事業を研究しました。クリミア戦争では野戦病院の改善と、傷病者の看護に超人的な努力をささげ、**クリミアの天使**と讃えられました。

1860年にロンドンの聖トマス病院にナイチンゲール看護学校を設立し、1910年に90歳でその生涯を終えるまで**看護の発展に数限りない業績を残しました。**



在宅介護医療連携研修会

～相互の役割理解ときれめない連携について考える～



臨床教育研修センター
地域健康推進室（共済係） 近 藤 咲



令和元年6月19日（水）、第133回熊本南病院地域ケア連携研修会が当院のリハビリ室に於いて、「在宅介護医療連携研修会」～相互の役割理解ときれめない連携について考える～というテーマで開催されました。

まず始めに当院医療連携室看護師 長尾敦子さんが「当院の入退院支援の実際について」と題して、地域医療連携室で行っている入退院支援フローチャートについての説明と支援・調整の実態について報告されました。当院では、病棟看護師と退院調整の

スタッフ（地域医療連携室）が情報交換・共有を行い、療養移行支援へと繋げています。

支援をおこなう上で大切にしていることは、セルフケアを高めるための患者さん・家族への指導、在宅でも継続可能な医療処置への変更、わかりやすい情報共有を挙げられ、今後も退院支援の質の向上に向け、病棟スタッフとの連携や宇城市内の入退院ルールの内活用に取り組んでいきたいと発表されました。

次に居宅介護支援事業所まつばせ介護支援専門員 平野順子先生から「ケアマネジャーの役割と介入の実際」と題して、居宅介護支援事業の提供内容と実際に担当された1つの事例を紹介されました。事例を通じてケアマネジャーは迅速な対応、スムーズな在宅生活につなげることが退院支援におけるケアマネジャーの役割だと話されました。

また、利用者の支援には他職種がチームとなって相互に役割を理解し情報共有することも大切にされていることがわかりました。

平野先生は、チームの一員として顔の見える関係づくり、情報伝達がスムーズに行えるように取り組むことが重要だとまとめられました。

最後に訪問看護ステーションきらり管理者 小田原美和先生が「安心して暮らすための訪問看



みなみかぜ



「**護**」ということで、在宅で療養する利用者のもとへ看護師が訪問し、健康や療養生活上の種々の相談に応じ、必要な看護の提供や指導をすること。

今回、小田原先生が実際におこなわれている服薬管理やリハビリ、入浴介助の様子をご紹介されました。

訪問看護を利用することで患者さんご本人だけでなく、ご家族も安心してらせるように生活のサポートをしていきたいと話されました。

今回の地域ケア研修会を通して、在宅支援者と十分な連携をとり、療養者と家族の理解にどれだけ寄り添うことができるか、また支援を行うには、多職種の方たちと情報交換をし、最善な形で在宅につなげていくかが重要であると感じました。

当院をはじめ、他の医療機関、施設とも連携をし、地域全体で支援していかなければならないと思っています。



第22回日本ALS協会熊本県支部通常総会

臨床教育研修センター

地域健康推進室（庶務班長） 伊藤 暢 朗

令和元年6月9日（日）、14時から日本ALS協会熊本県支部通常総会が熊本再春医療センター多目的ホールにおきまして、患者さん及び家族の方々、運営委員の方々の他に熊本保健科学大学ボランティアサークル「ラバース」の皆さん、総勢55名の参加で盛大に開催されました。

来賓としては、熊本県健康づくり推進課・各保健所の難病担当者、熊本県難病相談・支援センター、各拠点病院の相談専門員さんが見えになり、総会に華をさかせていただきました。

医療関係者としては、熊本大学病院脳神経内科准教授 山下 賢先生、熊本再春医療センター臨床研究部長 前田 寧先生、熊本南病院名誉院長 植川 和利先生、脳神経内科医長 阪本 徹郎先生にご参加を賜りました。

また、熊本南病院からは、会場設営、総合司会、写真撮影等々、臨床教育研修センター地域健康推進室から伊藤・紫垣が支援をさせていただきました。

まず初めに、平成30年度の活動報告・会計報告及び監査報告があり、令和元年度の活動方針（案）及び予算（案）を承認されて無事に議事が終了しました。

総会終了後、熊本再春医療センター臨床研究部長の前田寧先生が「痩せるお話」という演題で、体重減少・骨格筋（筋肉）減少、進行中のALSに対する治療の状況等をわかりやすく話していただきました。

次に熊本県難病相談・支援センター所長 田上和子さんをコーディネーターとして、患者・家族、行政、医療関係者の三者による日常的や災害時などの対応等について意見交流会がありました。「今後、生活の面でどうしたらいいかわからない。家族間の交流も含めて、相談できる環境を整備してほしい等」の発言があり、協会県支部副支部長・運営委員方から、「難病サロン再春」の報告がありました。

サロンは毎月第1水曜日の13:30~15:30で行われ、対象は今のところ、神経難病で悩んでいらっしゃる患者さんやその家族の方だそう、代表の方々と病院の地域連携室、難病相談員、病棟の認定看護師がお茶を一緒に飲みながら、話を聞いたり、相談を受けたりして、サポートされているということでした。

最後にアトラクションとして、熊本保健科学大学ボランティアサークル「ラバース」の皆さんによる、ハンドベル演奏や合唱があり、とても素晴らしいものでした。



みなみかぜ

行政も医療も前向きに受け止めて全拠点病院にサロンの活動を考えなければならないと思いました。

熊本南病院にも早急に「難病サロン」をオープンさせたいなあと切に感じるころでした。

“これまでもこれからも”をモットーに、「臨床教育研修センター地域健康推進室」として、各種患者団体に対して支援をしていかなければならないと決意を新たにしました。

職員が一丸となって、来院される方々に対して、「おもてなしの心を持ち」、さらに地域から信頼される病院を創りあげていくことが重要だと思っています。

最後に熊本再春医療センター高尾部長をはじめとした事務部の方々、事前の準備等お疲れさまでした。



たは 風
れ 流
じま 島

宇城
百景
うきひやっけい



～ 平安歌人も知る孤礁 ～

住吉神社の森から望む

紫陽花の名勝として知られる住吉自然公園から海を眺めて最初に目につくのが風流島です。平安時代の伊勢物語や枕草子にも登場する存在感がある島（岩場）で、てっぺんには鳥居があります！！また、背景に聳え立っている山は金峰山です。住吉自然公園へ行かれてみては！

『伊勢物語』六十一段

《名にしおはゞ あだにぞあるべき たはれ島 浪の濡れ衣 着るといふなり》

masa1013

平成31年度出張健康教室開催状況(4月~6月)

**JA熊本うき女性部緑川 様
16名**

日時 平成31年 4月 8日(月)
19:30~
場所 緑川公民館
講師 内田妥美 運動療法主任
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



**松橋町松橋南11区福社会 様
28名**

日時 平成31年 4月16日(火)
11:00~
場所 松橋南11区公民館
講師 松本恭平 理学療法士
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



**宇城市食生活改善推進員協議会 様
100名**

日時 平成31年 4月24日(水)
10:00~
場所 宇城市豊野支所大会議室
講師 山口あゆみ 管理栄養士
演題 『病気と食事療法について』



**松橋町南豊崎福社会 様
42名**

日時 令和 元年 5月 9日(木)
10:00~
場所 南豊崎公民館
講師 緒方ゆり 主任管理栄養士
演題 『病気と食事療法について』



平成31年度出張健康教室開催状況(4月～6月)

小川町仲之江福祉会 様
15名

日時 令和元年 5月28日(火)
10:00～
場所 仲之江公民館
講師 山口あゆみ 管理栄養士
演題 『食中毒の予防について』



小川町野添福祉会 様
16名

日時 令和元年 6月 5日(水)
19:45～
場所 野添公民館
講師 山口あゆみ 管理栄養士
演題 『病気と食事療法について』



松橋町曲野台福祉会 様
20名

日時 令和元年 6月 6日(木)
14:00～
場所 曲野台公民館
講師 内田妥美 運動療法主任
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



小川町上住吉福祉会 様
20名

日時 令和元年 6月10日(月)
10:00～
場所 上住吉公民館
講師 緒方ゆり 主任管理栄養士
演題 『病気と食事療法について』



平成31年度出張健康教室開催状況(4月～6月)

松橋町松橋12区福祉会 様 27名

日時 令和 元年 6月15日(土)
13:00～
場所 松橋12区公民館
講師 坂本一樹 理学療法士
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



豊野町下郷福祉会 様 25名

日時 令和 元年 6月16日(日)
10:00～
場所 下郷下公民館
講師 梶原佳奈 作業療法士
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



松橋町松橋5区福祉会 様 10名

日時 令和 元年 6月17日(月)
10:00～
場所 緒方哲也様宅
講師 増山伸吾 作業療法士
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



小川町川尻福祉会 様 40名

日時 令和 元年 6月19日(水)
10:00～
場所 川尻公民館
講師 坂田真美 作業療法士
演題 『物忘れ予防の脳・運動トレーニング』



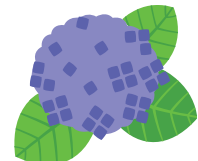
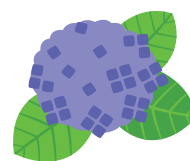
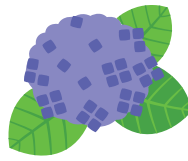
平成31年度出張健康教室開催状況(4月～6月)

小川町小川本村福祉会 様 20名

日時 令和 元年 6月24日(月)
10:00～
場所 小川本村公民館
講師 緒方ゆり 主任管理栄養士
演題 『食中毒の予防について』



新採用・転入者等紹介



5 病棟看護助手

村上佳代子

初めまして、令和元年5月7日より勤務させて頂く事になりました。現在看護助手として5病棟に所属しています。毎日がとまどいと不安の連続です。どうぞ、よろしくお願いいたします。



5 病棟看護助手

宮崎正実

7月より看護助手として5病棟にお世話になっています。病院勤務は3年半ぶりです。よろしくお願いいたします。



5 病棟看護師

中村尚美

5月から非常勤で勤務しています。看護師1年目でご迷惑をおかけすることがあると思いますが、多くのことを学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



食器消毒

関 麻利子

7月から食器消毒に勤務することになりました。早く仕事を覚えて、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



保清係

勝山三人

6月より、業務技術員として、勤務させて頂いております。一日も早く仕事を覚え、責任感持って頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



支えあおう熊本
いま心ひとつに



独立行政法人 熊本南病院

〒869-0593 熊本県宇城市松橋町豊福2338

TEL 0964-32-0826

FAX 0964-33-3207

[http\(s\)://kumamotominami.hosp.go.jp/](http(s)://kumamotominami.hosp.go.jp/)

E-mail:shigaki.masahide.gx@mail.hosp.go.jp